

公共交通の現状および意向に関するアンケート調査

1. あなたご自身についてお聞きします。

Q1-1 住所をお答えください。 ※町域単位まで 例：大津市京町

〒	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	-	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	(<input type="text"/> 市・町 <input type="text"/>)
---	----------------------	----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	----------------------	---------------------------------------------------

Q1-2 性別をお答えください。(1つ選択)

1. 男性 2. 女性 3. 答えたくない

Q1-3 世帯内の属性をお答えください。(1つ選択)

1. 世帯主 2. 世帯主以外(同居人)

Q1-4 年代をお答えください。(1つ選び○をつけてください)

1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60歳以上65歳未満
7. 65歳以上70歳未満 8. 70歳以上75歳未満 9. 75歳以上80歳未満 10. 80歳以上

Q1-5 職業をお答えください。(1つ選び○をつけてください)

1. 会社員・公務員・団体職員 2. 自営業・自由業 3. パート・アルバイト 4. 家事専業
5. 高校生 6. 大学生・専門学生 7. 無職 8. その他

Q1-6 自動車運転免許(自動二輪含む)の保有状況をお答えください。(1つ選び○をつけてください)

1. 現在保有している 2. 以前持っていたが、現在は保有していない 3. 一度も保有したことはない

4. 返納予定である (4を選択した方は何歳頃に返納予定か以下から1つ選択してください。)

1. 60歳未満 2. 60歳以上65歳未満 3. 65歳以上70歳未満 4. 70歳以上75歳未満
5. 75歳以上80歳未満 6. 80歳以上

Q1-7 家族・友人等による送迎についてお答えください。(1つ選び○をつけてください)

1. 家族・友人等に送迎してもらうことができる 2. 家族・友人等に送迎してもらうことができない

Q1-8 日頃移動時に利用する主な交通手段についてお答えください。(当てはまるもの全てに○をつけてください)

1. 鉄道 2. バス 3. 自動車(自身で運転) 4. 自動車(家族等の送迎) 5. 自動二輪
6. 自転車 7. 徒歩 8. その他()

2. あなたが県内で利用する公共交通の状況について、ご記入ください。

Q2-1 鉄道、バスの利用頻度をお答えください。(1つ選び○をつけてください)

1. ほぼ毎日 2. 週に3~4日程度 3. 週に1~2日程度 4. 月に数日程度 5. 年に数日程度

6. ほぼ使わない 7. 使ったことはない → 6または7を選択した方(理由:)

Q2-2 鉄道、バスを利用する際の主な移動目的をお答えください。(1つ選び○をつけてください)

1. 通勤・通学 2. 業務 3. 買物(買回り品) 4. 買物(買回り品以外) 5. 通院
6. 福祉(福祉・介護施設) 7. 自由目的(レジャー、習い事、会食、友人に会う等)

Q2-3 最寄り駅、バス停までの距離(所要時間)をお答えください。(1つ選び○をつけてください)

※Q2-1で「ほぼ使わない」「使ったことはない」と回答した人も把握していればご回答ください。

1. 100mまで(徒歩1~2分) 2. 300mまで(徒歩3~5分) 3. 500mまで(徒歩6~8分)
4. 1kmまで(徒歩9~15分) 5. 2kmまで(自転車10~15分) 6. 3kmまで(自転車15~30分)
7. 5kmまで(自転車30分以上)

Q2-4 最寄り駅、バス停までの移動手段をお答えください。(1つ選び○をつけてください)

1. 徒歩 2. 自転車 3. 自動車(自身で運転) 4. 自動車(家族等の送迎) 5. 自動二輪
6. その他()

3. 公共交通の現状に対するご認識について、以下にお答えください。
※お願い文の裏面の「県内の公共交通の現状」の内容をご覧くださいながらご回答ください。

Q3-1 ①公共交通の利用・運行状況に対する認知度をお答えください。(1つ選び○をつけてください)

1. 知っていた 2. 聞いたことがある程度 3. 知らなかった

Q3-2 ②公共交通への費用負担状況に対する認知度をお答えください。(1つ選び○をつけてください)

1. 知っていた 2. 聞いたことがある程度 3. 知らなかった

Q3-3 ②公共交通への費用負担状況について、県、市、町が運行費用を負担することに対するお考えをお答えください。(1つ選び○をつけてください)

1. 許容できる 2. どちらかと言えば許容できる 3. どちらかと言えば許容できない 4. 許容できない
 (理由: _____)

Q3-4 ③公共交通がもたらす多面的な効果に対する認知度をお答えください。(1つ選び○をつけてください)

1. 知っていた 2. 聞いたことがある程度 3. 知らなかった

Q3-5 ③公共交通がもたらす多面的な効果について公共交通の維持を考える上での重要度をお答えください。(1つ選び○をつけてください)

1. 重要である 2. どちらかと言えば重要である 3. どちらかと言えば重要でない 4. 重要でない
 (理由: _____)

Q3-6 公共交通の現状①②③を踏まえ、公共交通の必要性をお答えください。(1つ選び○をつけてください)

1. 必要である 2. どちらかと言えば必要である 3. どちらかと言えば必要でない 4. 必要でない
 (理由: _____)

Q3-7 現状の公共交通に対する満足度をお答えください。(1つ選び○をつけてください)

1. 満足である 2. どちらかと言えば満足である 3. どちらかと言えば満足でない 4. 満足でない

4. 公共交通の現状を踏まえた上で、新たな費用負担について以下にお答えください。

Q4-1 公共交通の維持(現状の運行本数等のサービスレベルの維持)に関してお尋ねします。

あなたは維持に必要な費用(運賃以外)を一部負担しても良いと思いますか。(1つ選び○をつけてください)
(負担金は運行経費・車両維持費に対する補てん等の公共交通の維持に活用すると想定してください)

維持のための負担をしなかった場合	赤字が続ぎ公共交通が廃止され、高齢者等の移動が不便になるおそれがあります。またその移動支援のために税が使われ、交通以外の市民サービスも相対的に低下するおそれがあります。
------------------	--------------------------------------------------------------------------------------

1. 思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらかと言えば思わない
 4. 思わない 5. 思わないが負担はやむを得ない

(理由: _____)

Q4-2 公共交通への投資(運行本数の増便等のサービスレベルの向上)に関してお尋ねします。

あなたは投資に必要な費用(運賃以外)を一部負担しても良いと思いますか。(1つ選び○をつけてください)
(負担金は運行本数の増便、路線の新設・再編等のサービスレベルの向上に活用すると想定してください)

投資のための負担をした場合	サービスレベルが維持または改善され、公共交通の利便性が向上し、利用しやすくなります。
---------------	--------------------------------------------

1. 思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらかと言えば思わない
 4. 思わない 5. 思わないが負担はやむを得ない

(理由: _____)

5. 公共交通に求めるサービス水準について、以下にお答えください。

Q5-1 現状の移動状況および、移動目的を公共交通が担う場合の望ましい運行間隔をお答えください。

移動目的	現状			公共交通で代替する場合			
	日常的な外出頻度 (※1から番号を1つ記入)	利用している交通手段 (※2から当てはまるもの全ての番号を記入)	☆最低限必要な外出頻度 (※1から番号を1つ記入)	移動目的のうち公共交通が担うべきものに○を記入	左で○をつけた移動目的のみ回答 (※3から番号を1つ記入)	利用したいと思える運行間隔	☆最低限確保すべき運行間隔
通勤・通学	()	()	()	()	()	()	()
買物	()	()	()	()	()	()	()
通院・福祉	()	()	()	()	()	()	()
自由目的 (レジャー、習い事、会食、友人に会う等)	()	()	()	()	()	()	()

※1 外出頻度 ☆最低限とは、その外出頻度を下回る場合、日常生活を送ることが困難となる限界の水準

1. ほとんど毎日 2. 週4~5日 3. 週2~3日 4. 週1日 5. 月2~3日以下 6. 月1日以下
7. この目的での移動はない

※2 現状利用している交通手段

1. 鉄道 2. バス 3. 自動車(自身で運転) 4. 自動車(家族等の送迎) 5. 自動二輪 6. 自転車
7. 徒歩 8. その他

※3 運行間隔の選択肢 ☆最低限とは、その運行本数を下回る場合、日常生活を送ることが困難となる限界の水準

1. 10分に1本(1時間に6本)以上 2. 15分に1本(1時間に4本)以上 3. 30分に1本(1時間に2本)以上
4. 1時間に1本 5. 2時間に1本 6. 1日に4~3本 7. それ以下でも良い 8. 予約制

6. 公共交通サービス向上に向け、必要だと思う取組をお答えください。(複数選択可)

1. 交通網の充実(新規運行、運行頻度向上等)
2. 利用しやすい料金設定の導入
(エリア運賃導入、上限運賃設定、サブスクリプション(定額使い放題)、高割引定期券、無料化)
3. 事業者間の連携(経路・ダイヤの調整、エリア運賃の導入等)
4. 多様な交通をつなぐ仕組み構築
(鉄道・バス・タクシー等他の交通手段との連携、キャッシュレス決済の導入、乗継案内の改善)
5. 拠点の環境整備(駅・バス停の待合環境改善、情報案内の充実)
6. 利用促進策(交通イベント開催、各種施設等と連携した企画乗車券販売等)
7. その他()

その他、県内の公共交通に関してご意見・ご要望がありましたらご記入ください。(自由回答)

Blank area for free response.

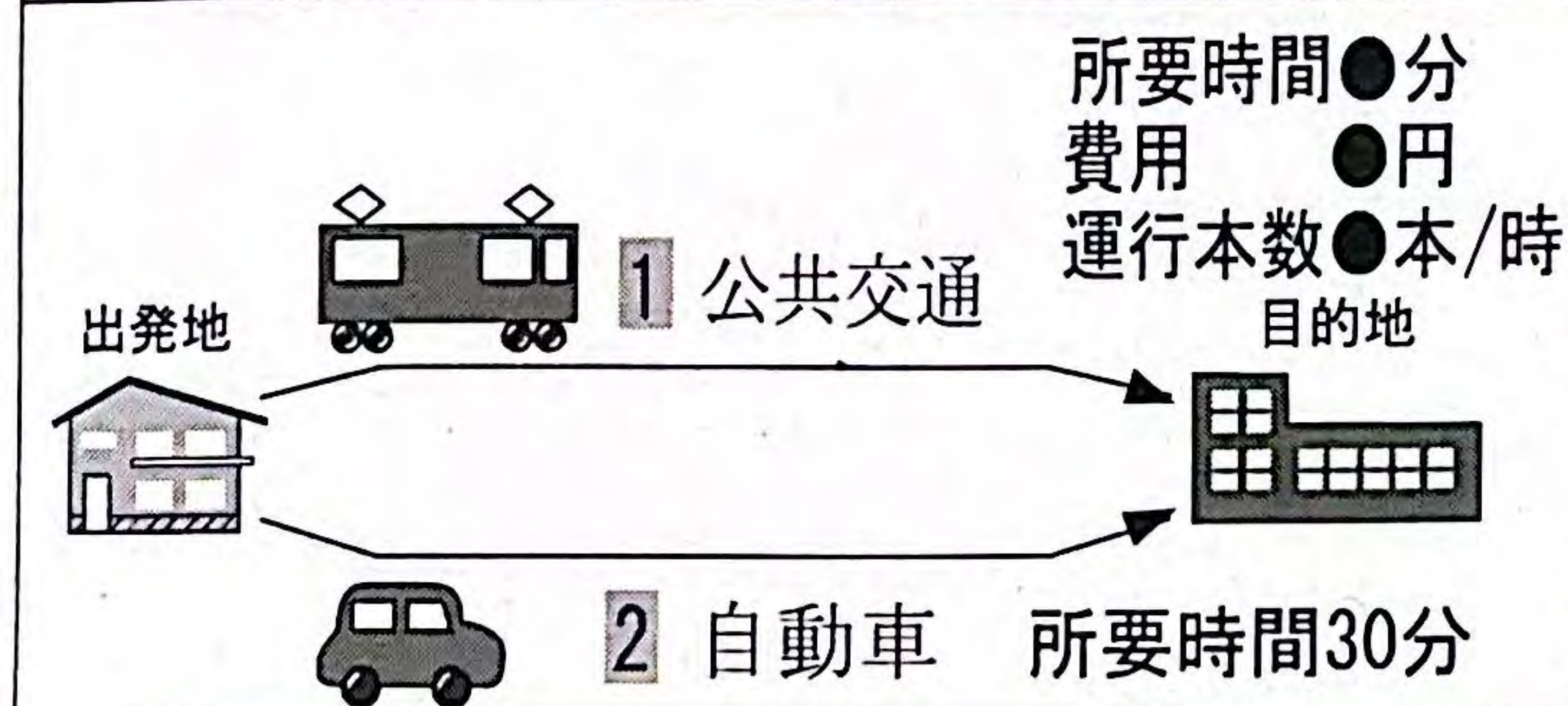
7. 自動車から公共交通への転換について、以下にお答えください。

Q7-1 自動車から公共交通に転換※するために、あなたが**重要**と思う項目を順に3番目まで選択し、転換しても**良い**と思える条件を記入してください。
 ※既に自動車ではなく公共交通を利用している方は、望ましいサービスの条件を記入してください。

重要視する項目 (A~Jのうち1つ選択し、○をつけてください)		下記例を参考に、自動車から公共交通に転換しても良いと思える条件、または望ましいサービスの条件を記入してください。
1番目に重要	A・B・C・D・E F・G・H・I・J	()
2番目に重要	A・B・C・D・E F・G・H・I・J	()
3番目に重要	A・B・C・D・E F・G・H・I・J	()

項目	自動車から公共交通に転換しても良いと思える条件、または望ましいサービスの条件の例
A 運行ルート	目的地に〇〇へ公共交通で行ける
B 運行本数(運行間隔)	〇〇分に1本程度の運行間隔となっている
C 始発/終発時刻	〇〇時から/〇〇時まで運行している
D 定時性・正確性	遅延時間が〇〇分以内である
E 所要時間(居住地・目的地~駅・バス停までの移動時間)	徒歩〇〇分以内に駅・バス停まで行ける
F 所要時間(目的地までの乗車時間)	〇〇分以内で目的地まで行ける
G 運賃	目的地まで〇〇円ぐらいていける
H 鉄道やバスとの乗継(移動や待ち時間)	待ち時間〇〇分程度で乗り継ぎできる
I 駅・バス停の待合環境(運行案内、屋根・ベンチ等の設備)	駅・バス停の運行案内がリアルタイムでわかる
J その他	

Q7-2 公共交通、自動車のどちらも利用できるなら、下表で示す条件の場合に、どちらを選択しますか。
 ※設問ごとに回答1、2のどちらかをお選びください。



【回答のイメージ 例：設問1】
 ある目的地に向かうとき、
 1. 公共交通 (所要時間 20分、運賃 300円、運行本数 1時間に2本)
 2. 自動車 (所要時間 30分)
 の条件の場合、
公共交通、自動車のどちらを選択するかお選びください

設問	1. 公共交通			⇔	2. 自動車	⇔	設問	回答
	所要時間	運賃	運行本数		所要時間			
1	20分	300円	1時間に2本	⇔	30分	⇔	1	1. 公共交通 2. 自動車
2	20分	100円	1時間に2本				2	1. 公共交通 2. 自動車
3	20分	200円	1時間に4本				3	1. 公共交通 2. 自動車
4	30分	200円	1時間に2本				4	1. 公共交通 2. 自動車
5	30分	200円	1時間に6本				5	1. 公共交通 2. 自動車
6	40分	300円	1時間に4本				6	1. 公共交通 2. 自動車
7	40分	100円	1時間に6本				7	1. 公共交通 2. 自動車
8	40分	200円	1時間に4本				8	1. 公共交通 2. 自動車

全ての設問で 1か2に○

~アンケートにご協力いただき、ありがとうございました~